

毎年9月は がん征圧月間です!

現在、日本では国民の2人に1人が生涯に一度はがんを患うとされますが、医学の進歩により早期発見・早期治療で治るがんも増えています。毎年9月は「がん征圧月間」です。適切な時期にがん検診を受けることで、大切な命をがんから守ってください。

企画・制作／中日新聞東海本社広告事業部

公益財団法人日本対がん協会
2023年度 がん征圧スローガン

安心を明日につなぐ
がん検診

子宮頸がんは予防も可能で早期発見で治せるがんです

子宮頸がんの原因はウイルス感染

日本では年間約11,000例の女性が子宮頸がんと診断され、約3,000人が死亡しています。日本の子宮頸がん罹患率(人口あたりに診断される数)は若年層で増加し、最近では30歳～50歳代で罹患率が高くなっています。死亡率も同様に40歳～50歳代では増加しています。前がん状態を含めると20歳代での急激な増加も指摘されています。

子宮頸がんの95%以上は子宮頸部へのヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因です。HPVは粘膜の微小な傷から侵入し粘膜上皮細胞に感染します。HPVはありふれた感染で、性交経験をする女性の大半が生涯一度はHPVに感染すると言われていたりますが、ごく一部の方が持続感染となり、がん化が始まります。

ワクチンと検診で予防と早期発見

子宮頸がんの一次予防として日本では現在、HPVワクチンの定期接種が小学校6年生～高校1年生の女性を対象に実施されています。HPVワクチン接種を国家プログラムとして実施している国では、ワクチン導入前後でHPV感染予防効果が認められています。日本ではHPVワクチン接種率が諸外国と比べて著しく低い状態が続いているため、早急にHPVワクチン接種を普及させることが求められています。

子宮頸がんの二次予防として、厚生労働省は20歳以上の女性を対象に2年に1回、問診、視診、子宮頸部の細胞診および内診を推奨しています。細胞診とは子宮頸部を擦って採取した細胞を調べる検査で、性交経験がある女性では一般に大きな

苦痛なく行えます。定期的に細胞診検査を行い、前がん病変や初期のがんを発見して治療を行うことにより、進行した命に関わる浸潤がんを減少させ、さらには子宮頸がん死亡率減少につなげることが子宮頸がん検診の目的です。前がん病変や初期がんはほとんど自覚症状がありませんが、子宮がん検診を受けることで発見することができ、多くの場合、子宮を温存した治療が可能で将来子供を得ることも期待できます。

世界的に低い子宮頸がん検診受診率

しかし、2019年の調査では日本の子宮がん検診受診率は43.7%でOECD(経済協力開発機構)加盟国では2番目に低い受診率となっています。また、HPVワクチン接種をしても子宮頸がんの原因となるHPV感染をすべて予防できないので、

子宮がん検診による二次予防が必要です。今後はワクチンと検診で子宮頸がんを撲滅することが可能であると考えられています。ぜひ、行政からの呼びかけに応じて検診を受けていただきたいと思います。

静岡県立静岡がんセンター
婦人科部長
平嶋 泰之 先生



沼津市出身。1986年三重大学医学部卒業。同年浜松医科大学産婦人科専攻入局。静岡医療センター、浜松医科大学勤務後に2002年静岡がんセンター婦人科医長。2008年同部長。医学博士。日本産科婦人科学会専門医、指導医、代議員。日本婦人科腫瘍学会専門医、指導医、理事。日本癌治療学会代議員。がん治療認定医。婦人科悪性腫瘍研究機構理事。子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん治療ガイドライン作成委員、浜松医科大学臨床教授。

コロナ禍とがん検診

静岡県立静岡がんセンター 病院長 小野 裕之 先生



1962年北海道生まれ。1987年道立札幌医科大学医学部卒業。同年札幌医科大学第4内科入局。1991年より国立がんセンター中央病院にてレジデント、チーフレジデント、スタッフとして2002年まで勤務。同年4月静岡がんセンター開設と同時に内視鏡科部長として着任。2012年副院長業務。2023年より病院長。専門は消化管内視鏡診断および治療。ITナフの開発者の一人として、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)の日本および世界への普及に努めている。

コロナ禍はがん検診にどう影響したか

新型コロナウイルス感染症の流行は、私たちの医療システムに大きな影響を与えました。特にがん検診においては、医療資源の制約や感染拡大のリスクを考慮して、検診の延期や制限が行われましたし、検診を受ける側の皆さんも感染への不安から受診控えがあったと思います。がんは初期段階では症状がほとんど現れないことが多く、進行するにつれて症状が出てきますし、治療も難しくなります。早期がん検診により、がんの発見が遅れることなく見つかることで、より効果的で侵襲の少ない、体に優しい治療法を選択できます。特に乳がん、肺がん、胃がん、大腸がんなど一部のがんは早期に発見されることで治療成功率が大きく向上します。しかし、コロナ禍による検診受診率低下により、がんの発見が遅れ、病気が進んだ状態

で見つかる患者さんがコロナ禍の前に比べて確実に増えていると感じます。

現在、コロナは5類感染症に移行し、インフルエンザと同じ分類になりました。もちろん高齢者や糖尿病などの基礎疾患をもっている方にとっては安易に「風邪」と片づけてよいものではなく、ときに命を脅かす怖い病気であるという意識は持って欲しいと思います。ただウイルスの株の変化、ワクチン接種率の増加などもあり、重症化する率は低下しました。コロナを恐れると同時に、それよりももっと、がんが進行してから見つかることを恐れて欲しいと思います。

なぜあなたは検診を受けないのか?


多くのがんは早期の段階で見つければ、低侵襲な治療で根治可能になってきています。また先述したとおり、多くのがん

は早期がんの段階では症状がありませんので、無症状だからこそ検診を受ける意義があります。ところが、検診の受診率が低いことが問題です。実は日本のがん検診受診率は男性で4～5割、女性で3～4割程度と欧米と比べて非常に低い状況です。この一文を読まれている皆さんの中にも一度も検診を受けたことがないという方も多いと思います。「受ける時間がない」「健康だから必要ない」「調子が悪ければ病院を受診するので不要」などが理由に挙げられていますが、進行がんになってから後悔しても始まりません。

一度も検診を受けたことのない方は、ぜひ「50歳の誕生日」や「結婚30周年」でも何でもよいので何かをきっかけに、でも、一度受けていただきたいと思います。

あなた自身とご家族のためにも。


本特集は、「中日新聞 しずおか」ホームページでもご覧いただけます。



がんを早期発見するためにも定期的ながん検診をおすすめします。

早期発見さえできれば、がんは決して怖い病気ではありません。

検診などのご相談は各医療施設へお気軽に
掲載順不同



あなたの健康を守りたい。年に1度は健診を!

公益財団法人
静岡県予防医学協会
浜松健診センター 浜松市東区下石町951

TEL053-422-7800 URL https://www.shsa.net

掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター
企業長・院長 宮地正彦

掛川市葛蒲ヶ池1番地の1 TEL:0537-21-5555
URL:https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/

産科 婦人科
ことみレディースクリニック
KOTOMI LADIES CLINIC
院長 長橋 ことみ
浜松市浜北区東美園678 TEL.053-589-5000

1年に1回は
自分の健康を見直しましょう!

浜松医療センター
HAMAMATSU MEDICAL CENTER

50th ANNIVERSARY
健診予約:053-451-2733
浜松市中区富塚町328
https://www.hmedc.or.jp/

厚 JA静岡厚生連遠州病院
健康管理センター

あなたのために、大切な人のために。
年に1度は人間ドックを。

日帰りドック / 1泊2日ドック
レディースドック / 脳ドック
健康診断 / 特定保健指導

お問い合わせ・お申し込みは
053-415-9969

浜松市中区中央1丁目1番1号 JR浜松駅より徒歩15分

あなたの健康をサポートします

地域がん診療連携拠点病院
磐田市立総合病院
事業管理者 鈴木昌八 病院長 山崎薫

健診センター
センター長 笹田雄三

【お問い合わせ・お申し込み】
TEL:0538-38-5031

ホームページはこちら

PETがん検診
男性/女性1日ドック
脳ドック
婦人科検診
特定健診
浜松市がん検診

十全記念病院の健診

当院導入
Discovery PET

お問い合わせ・お申込は
0120-565639
https://www.jyuzen-byouin.com/

医療法人明徳会
十全オアシス健診センター

人間ドック 生活習慣病予防健診
企業職員健診 浜松市がん検診

浜松市浜北区小松1680 健診のご予約は 0120-178915

健康寿命を延ばし生涯現役をサポートする
メディカルフィットネス & スパ
Nice Beat 浜松
浜松市浜北区小松1680 入会の申込みは 0120-506846

輝くいのち、守ります。
医療法人 光生会

光生会病院 総合健診センター

手術
化学療法
免疫細胞治療
内視鏡治療
TEL0532-61-3166

人間ドック・健診
施設機能評価
認定取得施設
TEL0532-61-3000

胃カメラ検診

地域の皆さまのかかりつけ医として
皆さまの健康をお守りします

日帰り人間ドック 特定健診 一般健診
各種がん検診 日帰り胃大腸内視鏡検査

ATSUSHI 市野健診センター
メディカルクリニック 胃・大腸内視鏡センター
tel.053-411-1107 tel.053-411-1108

イオン市野より西へ徒歩1分 浜松市東区中町691

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
保健事業部

がん検診、午前中で終了できる人間ドック
聖隷健康診断センター東伊場クリニック

ご予約: 0120-506-180

聖隷健康診断センター・聖隷予防検診センター
0120-938-375

地域・企業健診センター(浜松) 053-477-0587

聖隷健康サポートセンター-Shizuoka
0120-283-170

聖隷静岡健診クリニック

症状がない今だから
がん検診!!

1日人間ドック、健康診断、婦人科検診、巡回健診(企業・住民)、浜松市・静岡市特定健診、各種がん検診
保健事業部ホームページ https://www.seirei.or.jp/hoken/

2023年度 日本対がん協会
安心を明日につなぐ
がん検診

まずは、がん検診を受診してください!

“がん”は2人に1人がかかる病で、全国では1年間に100万人をこえる人が新たにがんにかかっていますが、決して治らない病では在りません。それには“早期発見・早期治療”が必要です。

静岡県対がん協会は「がんに関する正しい知識の普及啓発」と「がん検診の受診促進」、「早期発見・早期治療」の啓発活動をしています。

主な事業内容
がん予防啓発キャンペーン(2019年度) / がん予防講演会(2019年度)
がんサロンの開催(2019年度) / ピアサポーターの養成研修(10・11月に開催)

TEL.054-245-5655
静岡県東区東区3丁目6-3 静岡医師会館2階

日本対がん協会
ホームページ
がんに関する多くの
情報を見ることが
できます。

